

IBM DevSecOps from Home (DfH) ご紹介資料

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクニカルエキスパート本部

一極集中型の開発体制の継続が困難

COVID-19対応の長期化が懸念され、開発プロジェクトの関係者が、同一のネットワーク・同一の開発環境に接続して共同作業することが難しくなっている

多様なプラットフォームへの対策が急務

開発プロジェクトでは、WindowsやLinuxのみならず、AIX, i/OS, z/OS等の環境も利用しており、それらの開発環境・テスト環境が必要となっている

セキュリティ要求の拡大

担当者が自宅を含めて分散することにより、セキュリティ要件が厳しくなり、環境整備や運用維持に多大なるコストが必要となる

分散開発による生産性低下への対処が必要

これまでオンサイトでの協働開発により達成されていた生産性が、分散ロケーション開発により下がることが懸念される

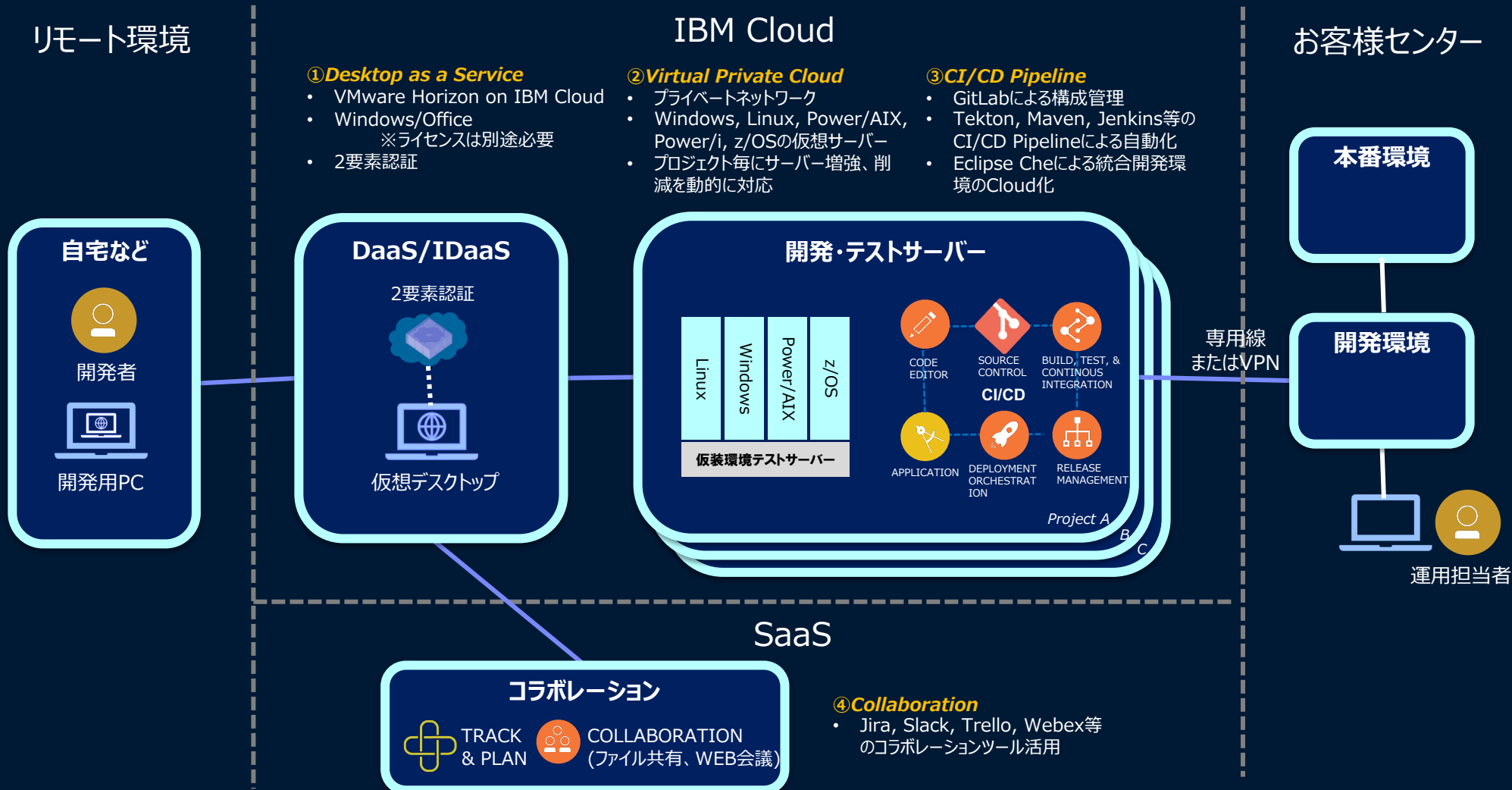
これらの課題を解決する協働環境として、Cloud技術を活用した、DevSecOps from Home (DfH)ソリューションをご提供。

- 仮想プライベートクラウド技術による、**クローズドなネットワーク環境**を構築
- 利用者の接点を**仮想デスクトップ**(VDI)として提供し、お客様成果物作成を仮想プライベートクラウド内でのみ作業
- Linux, Windows, Power/AIX, Power/i, z/OSの開発**テスト環境**を使用量課金にて提供
- **2要素認証**や**ファイルアップロード/ダウンロード禁止**などによるセキュリティ強化
- オープンソースを積極的に活用し、開發生産性の向上を実現するための**自動化ツール・開発ツール**を整備

COVID-19対応にとどまらず、より高い生産性を目指した開発ソリューションをご提供。

IBM DevSecOps from Home 概要

- DfHは弊社クラウドと各種ツールを複数組みあわせてリモート開発を実現するソリューションです。
- 開発PC用にIBM Cloud上のDesktop as a Serviceを使用します。

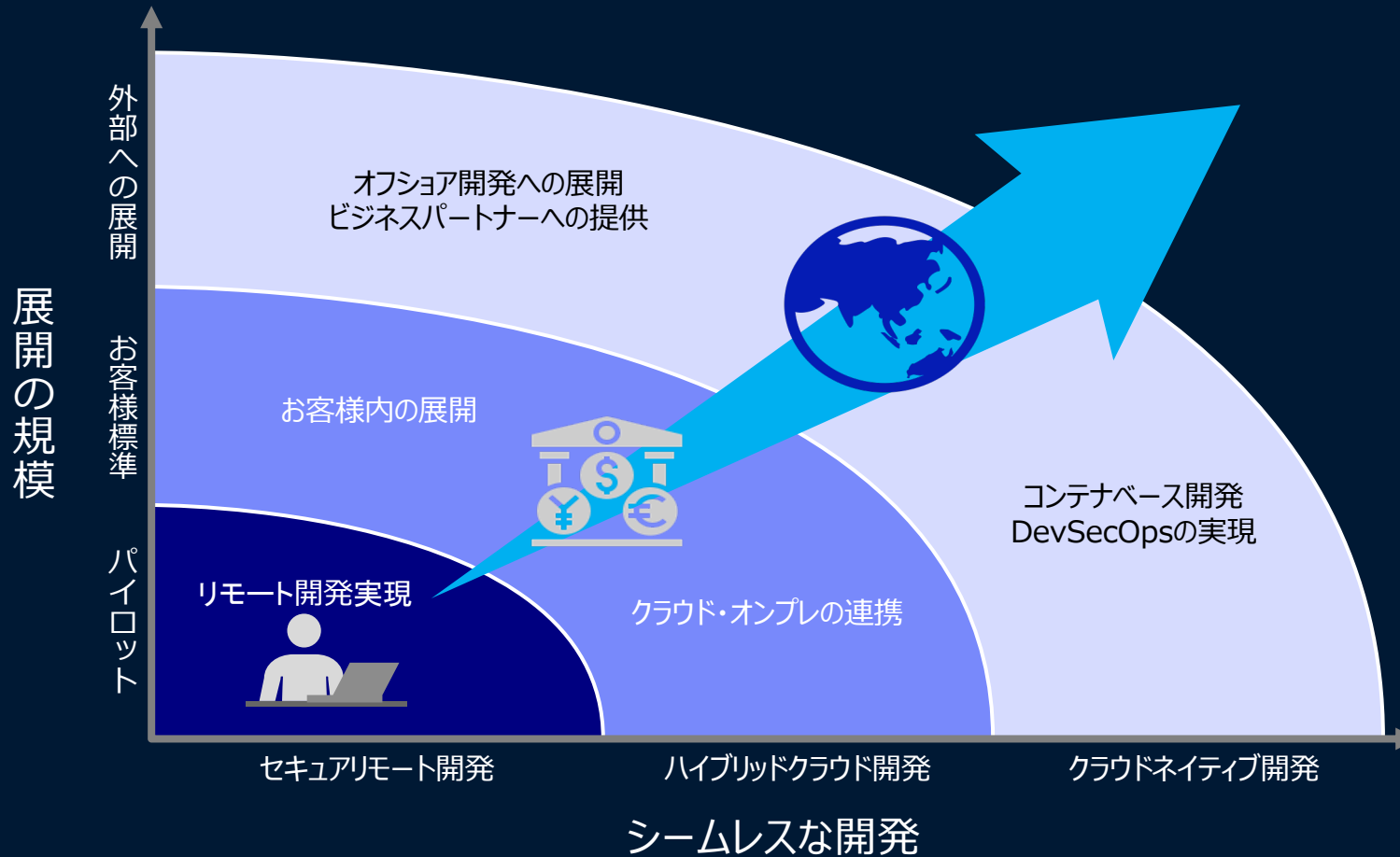


在宅勤務推進ステップ例

Step	業務回復	対応イメージ	対応内容
#1	部分的	<p>在宅用作業PCを整備し、ファイルの授受により業務を継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業PCをセキュリティ規定に基づき厳密に管理 メールなどにより必要なファイルを受受
#2	部分的	<p>在宅作業環境とお客さま間のコミュニケーションツールを整備</p>	<p>複数人でのコラボレーションを促進するツール群を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> チャットツール ファイル共有ツール Web会議ツール タスク管理ツール
#3	50~80%	<p>クラウド上で開発するための環境を整備</p>	<p>クラウドで開発できる環境を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想デスクトップ環境 + 2要素認証(OTPなど) 自宅での印刷やファイルのダウンロードは不可 ライブラリやCI/CDツール群の整備 開発・テスト用サーバーの構築
#4	100% (本番作業除く)	<p>お客さま環境の特定サーバーと専用線で接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 専用線等のNW準備、セキュリティチェック お客さま環境の特定サーバーと専用線で接続 オンプレミス環境とのシームレスなテスト環境を実現

IBM DevSecOps from Home 展開イメージ

- ・ 段階的なプロジェクト展開と洗練した開発の実現に向けてご支援いたします。



End

本資料は 2020年 6月時点の情報です。
今後更新・変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。